

ま え が き

令和2年度の大学入試センター試験は、令和2年1月18日、19日（追・再試験1月25日、26日）に173の全ての国公立大学と533の私立大学、152の公私立短期大学が参加して実施されました。受験者数は527,072人で、試験は多くの関係者の方々の御協力により終えることができました。31年にわたり実施された大学入試センター試験は、今回で最後となり、来年度から大学入学共通テストが実施されます。

独立行政法人大学入試センターでは、大学入試センター試験の問題評価を行うために、試験問題評価委員会を設置しております。当委員会は、各都道府県教育委員会等から推薦された高等学校教員から成る外部評価分科会と、試験問題を作成した教科科目第一委員会委員から成る自己点検・評価分科会の二つの分科会で構成され、それぞれに分科会長を置いております。

試験終了後、大学入試センター試験で出題された試験問題の内容、程度、出題方法等について、まず、外部評価分科会が評価を行います。また、これとは別に、各試験科目に関連が深い関係教育研究団体からも意見・評価を頂いております。

このたび、これらの意見・評価に対する自己点検・評価分科会の見解を付して、「令和2年度大学入試センター試験 試験問題評価委員会報告書」を作成いたしました。本報告書の内容は、今後の大学入学共通テストの問題作成の一助となることはもちろん、各大学における入学試験問題作成の参考にもなると考えております。また、高等学校における各科目の教育の参考資料としても御活用いただければ幸いです。

大学入試センターとしては、これまでの大学入試センター試験の試験結果等を十分に分析、研究するとともに、本報告書に掲載されている意見をはじめ各方面から寄せられた意見を参考にして、大学入学共通テストにおいても、より良質な試験問題の作成に取り組んでいく所存であります。

各位の御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和2年3月

独立行政法人大学入試センター 試験・研究統括官
試験問題評価委員会委員長 大 津 起 夫